中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版A

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢字の右下につけて助詞や活用語尾を補うかなを（　　）という

(2) 八つの句からなる漢詩を（　　）という

(3) 絶句の4つの句の展開を（　　）という

(4) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という

(5) 読む順序を示す符号を（　　）という

(6) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という

(7) 訓読のときに読まない字を（　　）という

(8) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という

(9) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という

(10) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という

(11) むだな心配をすることを（　　）という

(12) あとがない覚悟でことにあたることを（　　）という

(13) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という

(14) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている

(15) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という

(16) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という

(17) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という

(18) つじつまが合わないことを（　　）という

(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という

中1 国語 漢文 穴うめ（20問）　版Aの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（ ）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 漢字の右下につけて助詞や活用語尾を補うかなを（　　）という　送り仮名

(2) 八つの句からなる漢詩を（　　）という　律詩

(3) 絶句の4つの句の展開を（　　）という　起承転結

(4) 句の終わりに同じ響きの音をそろえることを（　　）という　押韻

(5) 読む順序を示す符号を（　　）という　返り点

(6) 向かい合う句を同じ組み立てで対応させる表現を（　　）という　対句

(7) 訓読のときに読まない字を（　　）という　置き字

(8) 一二点をはさんで返って読む点を（　　）という　上下点

(9) 下の一字から上の一字に返って読む点を（　　）という　レ点

(10) 一つの字を二度読む漢字を（　　）という　再読文字

(11) むだな心配をすることを（　　）という　杞憂

(12) あとがない覚悟でことにあたることを（　　）という　背水の陣

(13) 第三者が苦労せずに利益を得ることを（　　）という　漁夫の利

(14) 「五十歩百歩」の話は（　　）に書かれている　孟子

(15) 仲の悪い者どうしが同じ所にいることを（　　）という　呉越同舟

(16) よけいな手助けで悪くすることを（　　）という　助長

(17) 他人のつまらない言行も自分の役に立つことを（　　）という　他山の石

(18) つじつまが合わないことを（　　）という　矛盾

(19) 孔子と弟子たちの言行を集めた書物を（　　）という　論語

(20) 孔子が説いた仁や礼を大切にする教えを（　　）という　儒教